

IFFS/
AFS2009

シンガポールデザインを アジアから世界へ

(1)

連載第1回目は、KODADA社について紹介する。同社は30年以上の実績を誇るシンガポール企業輸出先はヨーロッパ、アジア、アメリカ、中東、アフリカ、ロシアなど50カ国以上に及ぶ。

KODADA社

今回はホルム6に大規模なブースエリアを占めて新製品群を出展した。新製品の傾向は大きく分けて2つ。

シンブルと新作は2つの傾向

環境対応

ルイジ・カーバリン氏が驚嘆のラックスな空間を演出する。はきわめてシンブルなタリテサインのコアン・コロレクションを発表。高度な技術によってユニークな色を露出させている。緩やかな曲線とシンブルな直線の組み合わせが洗練され、ミニマルなシルエットが特徴。ダイニン

人々サイナーのルイジ・カーバリン氏と、ニューヨークを拠点に活動している。ベッドルームコレクションは、モダンとクラシックが混在し、ハイクラシな強い地と乗用性

人々サイナーのルイジ・カーバリン氏と、ニューヨークを拠点に活動している。ベッドルームコレクションは、モダンとクラシックが混在し、ハイクラシな強い地と乗用性



カーバリン氏の「レベココレクション」のアイテム



の材質を用いた「レベココレクション」を発表。同コレクションでは「コリン・インパクト・レベコ」をデザイン美学として、木材をいっさい使わず、これまでのエコフレンドリー（環境にやさしい）製品に対するイメージを新たにするユニークな材質、水性塗料の仕上げから、パッケージまで、プラスチックでなく環境に配慮した素材を用いてコンセプトを二重にしている。リビング、ダイニング、ベッドルーム、書斎など比較的小さなスペースに向けたアイテムがそろそろ。

「アンコロレクション」と「レベココレクション」は現在2009年3月10カ国で流通している。価格は素材コストに比例して若干高く、中間層向け。話題が集まるエコフレンドリー製品は同時にデザイン性が高いが、近いうちに価格を多少下げ、顧客が購入しやすいようにする。日本市場にはサイズがやや大きいのが、その点には輸出に関して問題でなく、良いタイミングがあれば流通させるのが、良いタイミングがある。同社は特にヨーロッパ市場を拡大していく。そのため「デザインへのこだわり、ファブリックな素材選びが販売競争において非常に重要と考えている」とカーバリン氏。

（続く）小林